

高等学校 令和6年度 教科 国語 科目 文学探究

教科：国語 科目：文学探究 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。

【思考力、判断力、表現力等】 言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】 言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 文学探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
前期	「旅する本」 ・登場人物の描写を的確にとらえる。 ・語り手の役割を意識する。	・教科書 ・辞書		○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおうとしている。	○	○	○	6
	「十八歳の選択」 ・筆者の経験にもとづいた考えを読み取る。 ・自身の人生における「選択」について考える。	・教科書 ・辞書		○	【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをおして、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○		○	○	○	1
	「鹿を追いかけて」 ・文章の展開に即した情景描写に着目する。 ・自然と人間との関係がどのように表されているかをとらえる。	・教科書 ・辞書		○	【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文中で描かれる自然と人間の関係に興味をもち、情景描写をはじめとした表現を読み味わおうとしている。	○	○	○	4
	「山椒魚」 ・構成や表現の効果に着目しながら、寓意的な表現に込められた主題を読み取る。	・教科書 ・辞書		○	【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○		○	○	○	1	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
後 期	「月の誤訳」 ・ 翻訳の視点から日本の言語文化の特徴をとらえる。	・ 教科書 ・ 辞書			○	【知識・技能】 ・ 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 作者のものの見方とおして、日本の言語文化の特徴について考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	「こころ」 ・ 登場人物の心情理解をおして、自己の生き方や他者との関わりを学ぶ。 ・ 本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。	・ 教科書 ・ 辞書			○	【知識・技能】 ・ 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	○	○	○	10
	定期考査				○		○	○	○	1
	「美神」 ・ 舞台設定や時代背景をふまえて読む。 ・ 人物描写や表現効果に着目しながらテーマを考え、共有する。	・ 教科書 ・ 辞書			○	【知識・技能】 ・ 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・ 文学的な文章を読むこととおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・ 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することとおして、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	「アルプスの少女」 ・ 寓意を読み取り、主題について考察する。 ・ 日常生活や時代背景をふまえて解釈する。	・ 教科書 ・ 辞書			○	【知識・技能】 ・ 文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・ 文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 【思考・判断・表現】 ・ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 ・ 「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 舞台設定や時代背景を押さえ、作品の主題について考えを深めようとしている。	○	○	○	8
定期考査				○		○	○	○	1	

